

脂肪計測 (CT検査)



[内臓脂肪型肥満]

おなかの中の内臓周辺に脂肪がつくタイプの肥満で、生活習慣病との関わりが大きいとされています。中年太りでおなかが出ているタイプです。男性に多く、女性は更年期以降に増加します。内臓脂肪は皮下脂肪よりも落としやすいことが特徴です。



[皮下脂肪型肥満]

皮膚の下に集中して脂肪がつくタイプの肥満で、お尻・太股・下腹部がふっくらとしていて若い女性に多いタイプです。

肥満には脂肪がたまる場所により、「内臓脂肪型」と「皮下脂肪型」の二つに分けられます。外見적으로는やせて見えても、実は内臓にたくさん脂肪がついている、いわゆる『隠れ肥満』の状態が内臓脂肪型でメタボリックシンドロームの原因となる危険な状態です。

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪の蓄積により糖尿病や心筋梗塞などの生活習慣病が起こりやすくなった状態をいい、メタボリックシンドロームの人は糖尿病を発症するリスクが通常の7~8倍、心筋梗塞や脳卒中を発症するリスクが約3倍になるといわれています。



検査時間 : 15分程度
金額 : 5,200円